



思いやりのある子 自ら学び考える子 心身ともに健康な子

「令和の日本型学校教育の構築を目指して」

～すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～  
(令和2年10月7日中央教育審議会初等中等教育分科会)

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となることができるようになることが必要。

- 個別最適な学び
  - ・指導の個別化
  - ・学習の個性化
- 協働的な学び

目指す児童像

- ・自分の大切さとともに他の人の大切さを認められる児童
- ・主体的に学び、学びを深めることができる児童
- ・健やかで、夢に向かって積極的に挑戦する児童

目指す教師像

- ・愛情をもって、児童一人一人に寄り添うことができる教師
- ・指導力と専門性を高め合い、協働する教師
- ・保護者や地域の願いを受け止め、指導に生かす教師

本校の現状と今後

【児童の現状】

- ・素直で人懐こい。
- ・好奇心旺盛で話をよく聞く。
- ・全体として落ち着いている。
- ・学力に関しては課題が残る。

【今後に向けて】

- ・3つの資質能力の育成・涵養
  - 「知識・技能」
  - 「思考力・判断力・表現力等」
  - 「学びに向かう力・人間性等」
- ・教師の意欲と指導力の向上
- ・組織として学校運営

学びを止めるな

～新時代の日本型学校教育の構築を目指して～

with ICTにおける

主体的・対話的で深い学びの促進

- ① 日常的なICTの活用
- ② 教科担任制の実施

コロナ禍における学びの保証及び学びの重点化

- ① オンライン教育の推進
- ② 安全・安心のための新しい生活様式の完全定着

働き方改革の推進